

HD-MTX用指示簿

・尿量測定	6時間毎に尿量測定。4時、10時、16時、22時に実施。
・尿量<600mL時	ダイアモックス250mgを追加内服投与する。
・尿pH<7.0時	メイロン7% 20mLを側管からゆっくり静注投与する。
・Day2午前中(10時)	ロイコボリン含嗽液を口内に含んで含嗽後、服用する。
・口腔潰瘍、下血時	追加処方したロイコボリン含嗽液を口内に含んで含嗽後、服用する。
・治療中(Day1~14)	ハチアズレによる含嗽を1回1包 1日5回行う。

・メソトレキサートの 血中濃度測定・採血	<p>採血はB-4スピッツを用いて行う。 採血後、特定検査依頼書①(依頼書コード:C-3)に『早急にFAX結果希望』と記載して、 依頼書・検体を検査科へ搬送する。 結果は依頼書に記載した医師名のもとに連絡される。</p> <p>Day2 10時(メソトレキサート投与24時間後)にMITXの血中濃度採血を行う。 Day3 10時(メソトレキサート投与48時間後)にMITXの血中濃度採血を行う。 Day4 10時(メソトレキサート投与72時間後)にMITXの血中濃度採血を行う。 Day5 10時(メソトレキサート投与96時間後)にMITXの血中濃度採血を行う。</p>
-------------------------	---

・メソトレキサート(MTX)の血中濃度結果に応じて、ロイコボリンを下記の用法へ変更する。	
24時間値: 10 μ M以上	→48時間値が判明するまでロイコボリン15mgを4時間毎に投与。
48時間値: <1.0 μ M	→予定通り96時間後でロイコボリン投与を終了する。
>1.0 μ M	→72時間値が判明するまでロイコボリン15mgを4時間毎に投与する。
>2.0 μ M	→72時間値が判明するまでロイコボリン30mgを4時間毎に投与する。
72時間値: <0.1 μ M	→予定通り96時間で終了
>0.1 μ M	→96時間値が判明するまでロイコボリン15mgを6時間毎に投与する。
・口腔病変が出現し増悪した場合は、口腔外科のコンサルトを考慮する。	
・消化管毒性が出現し増悪した場合は、消化器内科のコンサルトを考慮する。	